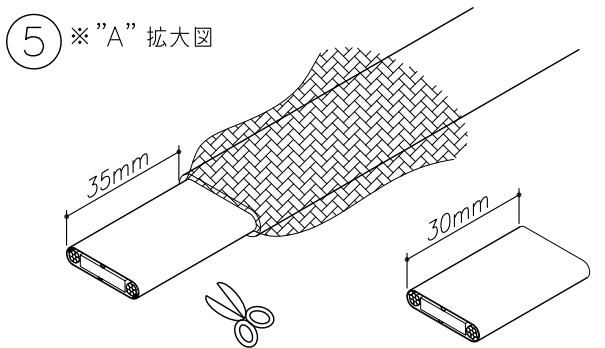
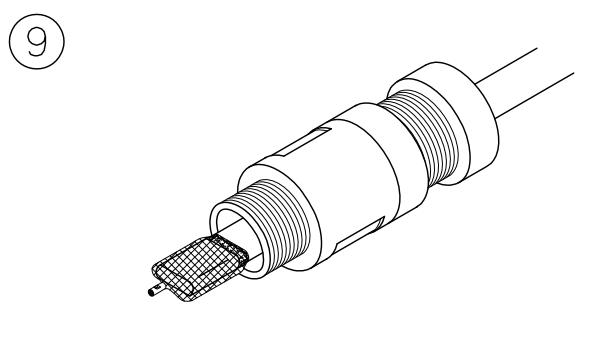


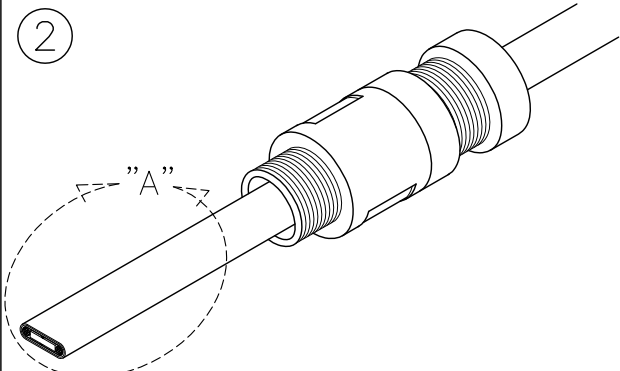
① ExHEを分解し、予めFヒータをパッキン押し金具、ワッシャー、パッキンの順に通します。



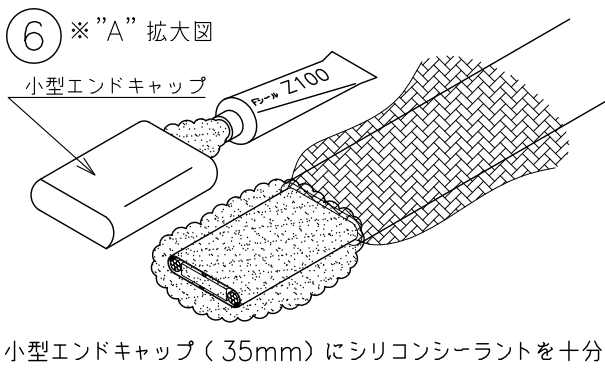
⑤ ※'A' 拡大図  
 端末から30mmのところまでFヒータを切断します。  
 (編組は切断しないで下さい。)



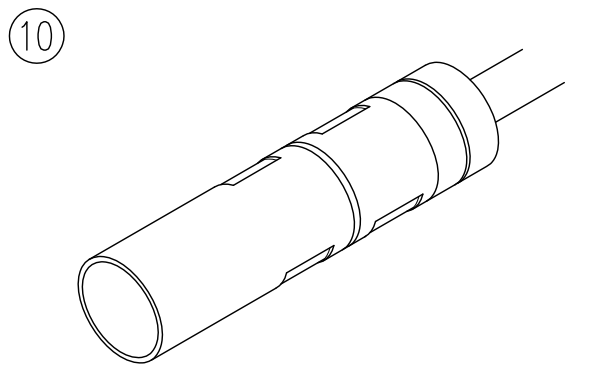
⑨ 端末部分を図の位置まで戻します。  
 パッキン押し金具でFヒータを固定します。



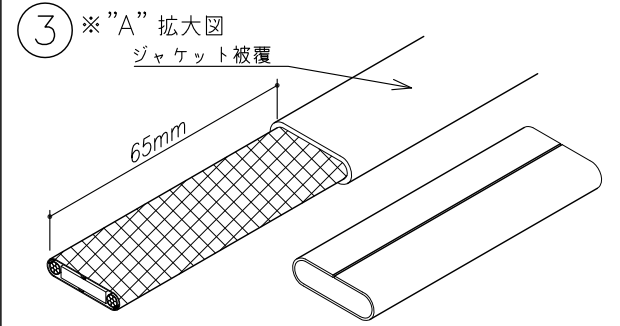
② パッキンにパッキンケースを被せる。



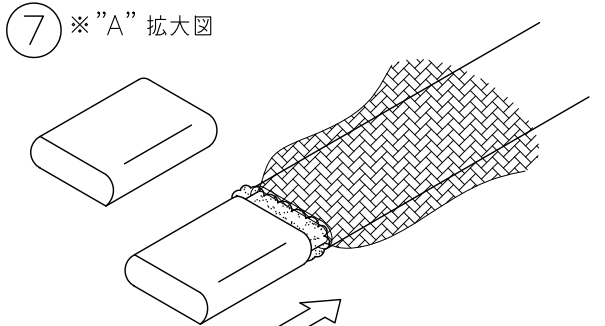
⑥ ※'A' 拡大図  
 小型エンドキャップ (35mm) にシリコンシーラントを十分に  
 充填します。また、Fヒータの端末部分にもシリコンシーラント  
 を塗布します。



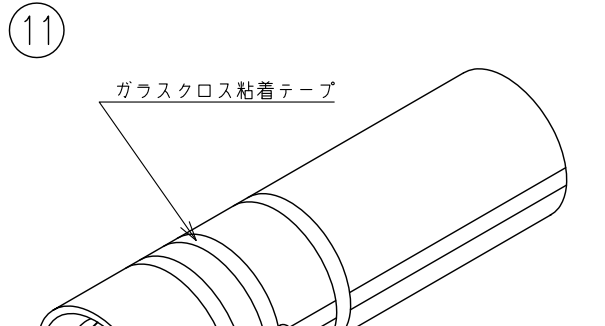
⑩ ヒータ保護金具にてFヒータに蓋をします。



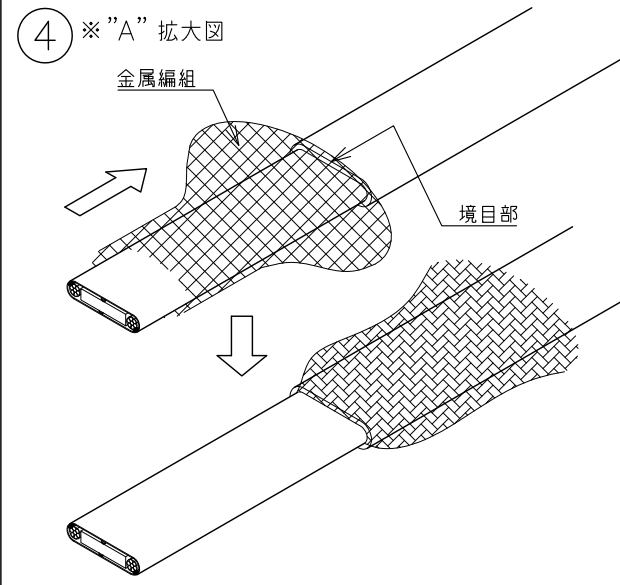
③ ※'A' 拡大図  
 ジャケット被覆  
 Fヒータを所要の長さに切断します。  
 端末から65mmジャケット被覆をカッター等で剥く。  
 (編組やヒータに傷につけない様に注意して下さい。)



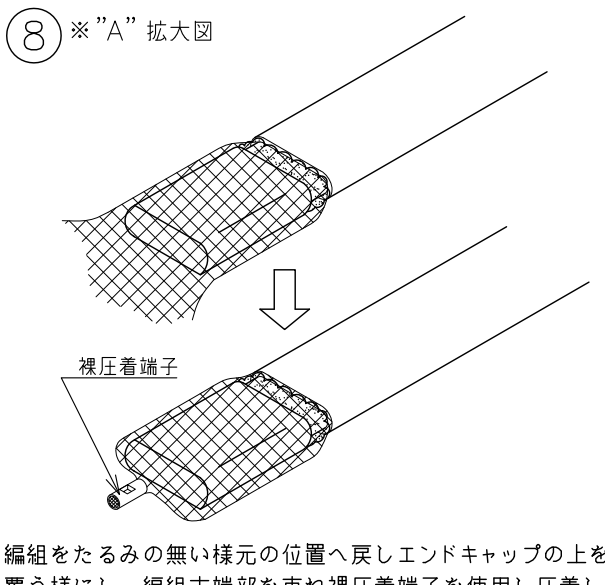
⑦ ※'A' 拡大図  
 気泡が残らない様注意して、小型エンドキャップをゆっくり  
 と被せます。



⑪ ExHEをガラスクロス粘着テープでパイプにしっかり止めて  
 下さい。さらにFヒータがExHEからずれない様にFヒータ  
 もガラスクロス粘着テープで止めます。



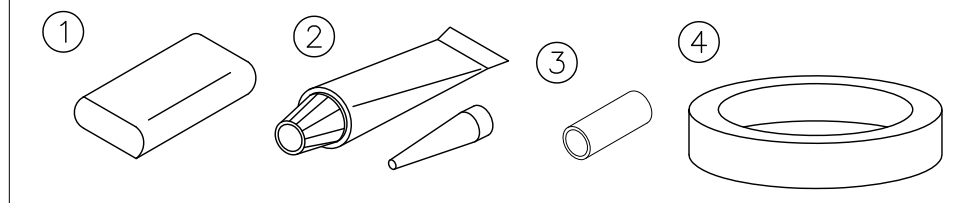
④ ※'A' 拡大図  
 編組をジャケット被覆の境目部方向に押し戻し、ジャケット  
 被覆の上に戻します。



⑧ ※'A' 拡大図  
 編組をたるみの無い様元の位置へ戻しエンドキャップの上を  
 覆う様にし、編組末端部を束ね裸圧着端子を使用し圧着し  
 ます。(この時小型エンドキャップが抜けない様に注意して  
 下さい。)

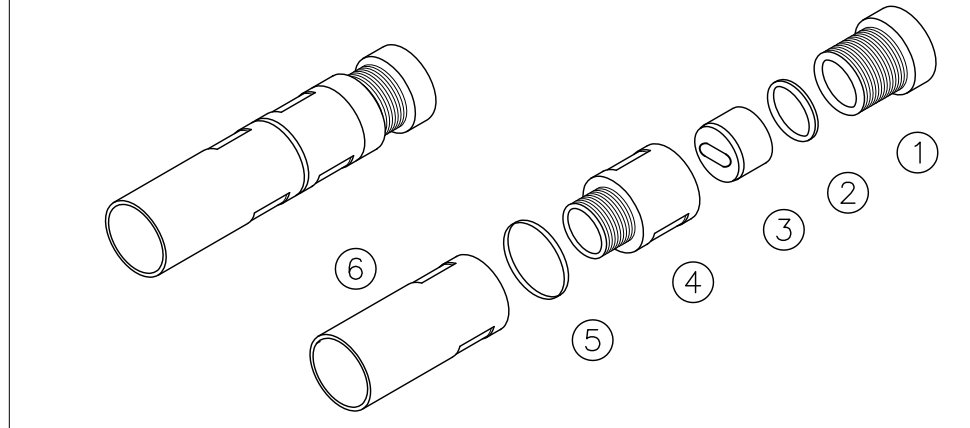
HE-1 部品構成

NO.	品名	材質	数量	備考
1	小型エンドキャップ	シリコンゴム	1	35mm
2	シリコンシーラント		1	
3	裸圧着端子		1	P-8
4	ガラスクロス粘着テープ		1	



ExHE 部品構成

NO.	品名	材質	数量	備考
1	パッキン押し金具		1	35mm
2	ワッシャー		1	
3	パッキン	シリコンゴム	1	
4	パッキンケース		1	
5	Oリング		1	
6	ヒータ保護金具		1	



NO.	年月日	記 事	設計	照査	承認
改 訂					
客先					
名称					
自己温度制御型Fヒータ 端末処理施工要領図 ExHE (PGHタイプ)					
製 図	'10.03.26 M.T	工 事 番 号			
設 計		仕 様 書 番 号			
照 査	'10.03.26 H.U	尺 度		NONE	
承 認	'10.03.26 K.S				

図面番号

ニチアスエンジニアリングサービス株式会社